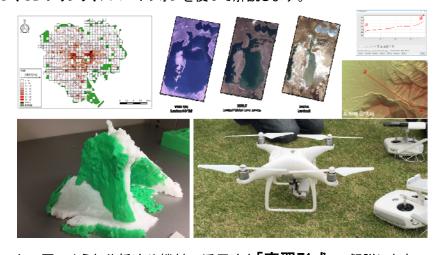
ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI プログラム概要

課題番号	19H	T0056	分野	地理·自然		キーワード	GIS		
研究機関名		東京大学							
プログラム名		デジタル地図とスマホ、ドローン、3D プリンタで自然環境と人間生活を調べよう!							
先生(代表	者)	小口 高(お	小口 高(おぐち たかし)						
		空間情報科学研究センター・教授							
自己紹	介	長野県の諏訪市で山と湖を見ながら育ち、高校の音楽サー							
クルなどで友人と交流する中で、自然と人間活動の両方に									
興味を持ちました。そこで、大学では自然と人間との関係を									
		扱う地理学を学びました。今は国内や海外で地形の野外調							
		査をしたり、コンピュータで地図を分析したりしています。							
開催日	時・	○和元年 0月 17日		3(十)	受 講	高校生	募集	45 名	
募集対	象	令和元年 8月 17日(土)			対象者	中学生	人数	40 12	
集合場所 間	• 時	東京大学相	(集合時(集合時(集合時(1)				9:30 ~ 10:	30∼10:00	
開催会	場	東京大学 柏キャンパス							
		住所:〒277-0882 千葉県柏市柏の葉 5 丁目 1-5							
		アクセスマップ URL:http://www-new.csis.u-tokyo.ac.jp/location/							
4 5									

内 容

身近な地域や世界のいろいろな地域の自然環境や人間生活の情報を、デジタルの電子地図にして分析するコンピュータのソフトを GIS(地理情報システム)とよびます。 GIS では、位置をもつ様々なデータを使って、科学的な分析を行うことができます。 例えば、都市に出店している店舗と最寄り駅の関係を調べたり、衛星画像や標高データを使って、環境や地形の分析を行うことができます。

本プログラムでは、高校や中学の地理の授業で習ったか、これから勉強する地域のデータを利用して、その場所の自然環境や人間活動を分析します。また、GISで使われるデータの作り方やその活用法について、ドローン、3Dプリンタ、スマートフォンを使って解説します。



上の図のような分析法や機材の活用法を「実習形式」で解説します! (主に室内でのソフトウェア操作と野外での機器操作の実習を予定しています)

スケジュール	持ち物	
9:30~10:00 受付(集合場所:柏キャンパス 総合研究棟 4F)	筆記用具	
10:00~10:10 開講式(あいさつ、科研費の説明)	動きやすい服装	
10:10~10:30 講義①「GISとは?地理空間情報とその活用」		
(終了後 10 分休憩)	※あると良いもの	
10:40~10:50 実習のオリエンテーション、移動	スマートフォン	
10:50~11:50 実習①「GIS を使った分析を体験してみよう」		
11:50~13:00 昼食・休憩(大学)	特記事項	
13:00~14:00 実習②「調査機器を使った野外でのデータ収集」	※1 本プログラムは、中学生でも参	
(終了後 10 分休憩)	加可能ですが、高校生レベルの内容	
14:10~15:10 実習③「3D プリンタでの地形模型の製作とスマート	で実施します。(中学生の場合、2 年	
フォンでVR」	生以上が望ましい)	
15:10~15:30 クッキータイム・大学生との交流・質疑応答		
15:30~16:30 実習④「防災のための GIS の利活用」	※2 自身のスマートフォンを利用する	
(終了後 10 分休憩)	際のパケット通信料等は受講者側で	
16:40~17:00 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	ご負担ください。	
17:00 終了·解散		

《お問合せ・お申込先》

所属•氏名:	東京大学空間情報科学研究センター/小口 高(おぐち たかし)				
住 所:	千葉県柏市柏の葉 5 丁目 1-5 総合研究棟 4F 小口高研究室				
TEL番号:	04-7136-4291				
FAX番号:	04-7136-4292				
E-mail:	oguchi@csis.u-tokyo.ac.jp				
申込締切日: 令和元年 7月 26日(金)					
※当プログラムは先着順にて受付を行います。					

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

	研究代表者 研究期間		研究種目	課題番号	研究課題名	
小口 高	; ,	H27-R1	基盤研究(A)	15H01782	GISの標準コアカリキュラムと知識体系	
	小口 高				を踏まえた実習用オープン教材の開発	



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック!

http://kaken.nii.ac.jp/

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。